（お知らせ）

小笠原諸島世界自然遺産地域「兄島」におけるグリーンアノールの確認について

〈東京都同時発表〉

平成 25 年 3 月 26 日（火）
環境省関東地方環境事務所
国立公園・保全整備課
（電話：048-600-0816）
課　　長　：中野　圭一
公園計画専門官：大木庸子
小笠原自然保護官事務所
（電話：04998-2-7174）
首席自然保護官：澤　邦之
自 然 保 護 官：山下　淳一

平成 25 年 3 月 22 日から 23 日にかけて、小笠原諸島父島列島兄島南部において、特定外来生物のグリーンアノールが確認されました。

兄島におけるグリーンアノールの確認は、今回、初めてのこととなります。

兄島は、小笠原諸島の世界自然遺産の価値の保全上、特に重要な地域の一つであり、グリーンアノールの侵入は、兄島の希少な昆虫類に極めて深刻な悪影響を及ぼす恐れがあります。

現在、関係機関において、下記の緊急的な対応を実施しています。発見地及び現地の状況については、別紙の通りです。見回りについては、今後も継続する予定です。

記

１．発見状況（別紙参照）

【平成 25 年 3 月 22 日】

東京都による外来植物ギンネム駆除事業の作業中、作業従事者が、グリーンアノールを 1 個体発見し捕殺した（雌雄確認中）。

【平成 25 年 3 月 23 日】

環境省、東京都、(財) 自然環境研究センターにおいて、現地の確認を行った。同発見地点の周辺で、新たに 3 個体（オス）を発見し捕殺した。

２．緊急的対応

環境省、東京都、(財)自然環境研究センターにおいて、3 月 23 日、以下の緊急的対応を実施した。

①　周辺の踏査

環境省、東京都、(財)自然環境研究センターにおいて、ヤシ浜周辺の林内を踏査した。

②　わなの設置

発見地点を中心に、約 190 個のトラップを設置した。

【参　考】

グリーンアノールは、アメリカ合衆国南東部を原産地とするは虫類で、昆虫類を捕食し、非常に繁殖能力が高いことから、特定外来生物による生態系への被害の防止に関する法律に基づく特定外来生物に指定されています。

すでにグリーンアノールが侵入している小笠原諸島の父島・母島では、昆虫類が激減しています。

以上